

レジャーダイビング認定カード普及協議会  
(Cカード協議会)

2014年11月定例会議事録

- ◎ 開催期日：2014年11月20日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	三枝	佳紀
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
		村上	史朗
☆STRAS	水中活動研究所有限会社	岡本	康男
☆オブザーバー	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久
	JRDA	有原	義則
	DANジャパン	野澤	徹
		平川	雅一
	静岡県ダイバーズ協議会	渡辺	守
		我妻	亨

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① 大阪会場・第五回ダイバー自身の安全対策セミナー状況報告

- 2014年10月25日大阪にて開催された「第五回ダイバー自身の安全対策セミナー」に関し、同実行委員会より以下の通り結果報告があった。
  - ・ 参加者数30名と予定参加者数には届かなかったが、参加したダイバーからは積極的な意見交換があり、アンケート結果からも参加者の安全意識は高まったといえる。
  - ・ 参加者数減少の原因は、告知が遅かったことが影響したため、次回からは告知を早める必要がある。
- 上述の報告を基に、2015年のダイバー自身の安全対策セミナーのスケジュール案（東京会場：2015年5月16日、大阪会場：10月31日）が実行委員より提案された。
- 実行委員の提案に対し、10月はまだダイビングのシーズン中のため、大阪会場は11月に変更した方が良いとの意見があり、東京会場は実行委員の提案通り5月16日、大阪会場は11月17日の日程で行なうことが決定された。

② C協「スクーバダイビング事故防止安全対策」について

- 前回9月定例会に出席できなかった会員に対し、JRDA有原氏より改めて経産省依頼事項（内容はC協9月定例会議事録に記載の通り）等の説明があった。
- 有原氏の説明の後、事務局より事務局作成の「スクーバダイビング事故防止安全対策」について改めて説明があり、「スクーバダイビング事故防止安全対策」の内容に対し、出席者全員の承認が得られた。
- 次に事務局より「スクーバダイビング事故防止安全対策」内、「安全の徹底及び講習管理」の手順について提案があり、これも出席者全員の承認が得られた。

③ その他

- DAN JAPANより、「DAN酸素インストラクター・DAN酸素インストラクター」講習、及び「第16回安全潜水を考える会 研修集会及びDAN酸素供給法講習会」の開催について説明があり、C協会員に対し告知の協力が求められた。
- C協会員は当該告知協力を行なうことが決まり、C協会員がWEB等で告知を行なうために、当該講習会等の案内資料データをDANからC協事務局に提供されることとなった。

以上